

2011年 10月 28日

調査報告書

- 1 とき：2011年10月28日
- 2 行先：飛島埠頭・金城ふ頭・JRリニア鉄道館
- 3 参加者：わしの恵子、田口一登、山口清明、政務調査補助員（尾関・浜田）
- 4 主な内容
 - ・名古屋市の土地（飛島ふ頭、東浜 1-13-1）55,670.15 m²と、名港管理組合の土地（金城ふ頭 3-2-3）32,726.32 m²の土地交換に対し、現地視察調査を行った。
 - ・名港管理組合⇒飛島ふ頭コンテナターミナル⇒金城ふ頭・交換の土地⇒築地口からの船着き場⇒JRリニア鉄道館でまわる。
 - ・飛島ふ頭コンテナターミナル：目的は、コンテナ機能の強化・効率化を図り、物流展開用地として活用。今回見学した検査場は、現場の人たちの要望により、一部試験的に行われている。「現在、コンテナは各会社で検査しているが、名古屋港は他港と違い各社が同じシステムを使って管理しているため、全社を1ヶ所でまとめて管理することが可能である。最終的には全てのコンテナを1ヶ所で集中管理したい。そのために、敷地拡大が必要」と、説明を受けた。
 - ・金城ふ頭・交換の土地：モノづくり文化交流拠点構想推進のため、JRリニア博物館に続く開発のために活用したいとのこと。JRリニア博物館も視察したが、平日でもかなりの人が入っていた。名古屋駅のあおなみ線改札口に、JRリニア鉄道館の混雑状況を知らせる案内板もあり、休日はかなり混雑する。ここは名古屋市がJRに無償で土地を提供し、敷地内の公園の管理も名古屋市が行っている。



コンテナターミナル



金城ふ頭の交換土地